



仙台ユネスコ

<http://www.unesco.or.jp/sendai/>

発行：公益社団法人 仙台ユネスコ協会

会長 高橋 仁

仙台市青葉区国分町一丁目8-13
(仙台協立第1ビル 4階)

電話 022-224-2581

FAX 022-302-3406

ユネスコセミナー「産官学民で取り組むSDGs」報告

2月26日、仙台市中小企業活性化センターを会場に、ユネスコセミナーを開催しました。SDGs達成目標年まで5年を切り、東日本大震災から15年目となる今年は、テーマを「持続可能な未来をつくる地域企業の力ー環境技術と食の連携が生む新しい価値ー」と設定し、2企業様にご講演いただきました。また、毎年セミナーを支えていただいている七十七銀行様には、最新の情報提供をお願いしました。環境省東北地方環境事務所環境対策課杉山課長には、開会の挨拶の中で、日本のSDGs達成状況等の報告をいただきました。



会場の様子



鹿島建設(株) 和田氏

鹿島建設株式会社建築設計本部技師長：和田淳氏は、お話の発端として、会社の東北（盛岡）との縁についてご紹介いただきました。建て替えが予定されている東北支店ビルが木造建築であり、採用される木造制震構造「欄間制震システム」に興味を惹かれて参加したという方も多く、講座後の質問も集中しました。社有林を全国に有し、林業としての山林サイクルと木材利用サイクルが連動するサーキュラーエコノミーの観点での事業展開は、事業活動を通じた環境・社会課題解決に向けた取組であり、SDGs達成への先進的かつダイナミックな貢献であると感じました。



株式会社かね久 遠藤氏

株式会社かね久代表取締役：遠藤伸太郎氏のSDGsの取組は、ずばりゴール17パートナーシップと言えます。食×〇は∞(無限大)で、地域や業種を超えて連携した、アイデア溢れた取組をご紹介いただきました。

原点の思いは東日本大震災後設立した「食のみやぎ応援団SDGs宣言文」に示されています。能登半島地震被災地を応援する「みやのとプライド」、低利用資源活用企画「もったいない定食」、「築地100年バーガー」や「みやぎご当地コロッケ総選挙」等々をご紹介いただき、会場の皆様の興味と笑顔を誘っていました。



株式会社七十七銀行 前嶋氏

セミナー開始当初から継続してご後援をいただき、情報提供いただいている株式会社七十七銀行地域開発部情報開発課課長：前嶋武氏からは、「SDGsへの取組意義とソリューションメニューのご紹介」と題してお話をいただきました。本セミナーの目的をご理解、発展させた内容であり、1.七十七グループの脱炭素経営、2.地域金融機関の役割、3. SDGsへの取組意義、4. ソリューションメニュー、5. 取引先の支援事例と、この紙面ではご紹介しきれない多角的な取組をご紹介、ご提供いただきました。

株式会社かね久の遠藤氏と、株式会社七十七銀行の川嶋様からは講演資料の公開をご許可いただきました。参考に、SDGsの進捗状況のデータもまとめました。右記のQRコードを読み取ってご覧ください。(4月末まで)



株式会社かね久



株式会社かね久
ショート動画



株式会社七十七銀行



開催趣旨と
SDGs進捗状況

事後アンケートからは、参加した方々の満足感が読み取れました。講師の皆様には、心より感謝申し上げます。
(ESD/SDGs委員会委員長/副会長 内藤恵子 記)

公益社団法人仙台ユネスコ協会は、UNESCO憲章の理念に共鳴した人々により、1947年(昭和22年)7月19日、世界で最初の「民間ユネスコ協力会」として誕生しました。

第28回「絵で伝えよう！わたしのたからもの」絵画展 開催



審査委員長を囲んで記念撮影



会場の様子

2月10日(火)～2月15日(日)、ユネスコ子ども絵画展 第28回「絵で伝えよう！わたしのたからもの」が東北電力グリーンプラザ・アクアホールで開催されました。

今年は小学校22校、中学校15校から、120点の応募がありました。会場にすべての作品を展示し、作者のメッセージも作品と共に紹介しました。

期間中は1067人の多くの方にご来場いただき、子どもたちの作品を見ていただきました。感性豊かな子ども

たちの作品に「素晴らしいですね」「元気をもらいました」「絵を描きたくなりました」等々のお言葉をいただき感動が伝わってきました。

最終日には多くの保護者に見守られる中、表彰式が行われました。吉田審査委員長より作品の素晴らしさと、これからも自信をもって絵を描いてくださいと講評をいただきました。

(活動委員会委員長/副会長 佐藤芳郎 記)

Salon & Zoom講座

「アイヌ文化から学ぼう— 版画と物語で紡ぐ自然と人の調和 —」

12月9日、Salon&Zoom講座を、(公財)アイヌ民族文化財団 アイヌ文化活動アドバイザー派遣事業を活用して開催しました。講師には、札幌アイヌ協会会長であり版画・造形作家の結城幸司氏をお迎えしました。アイヌ文化の魅力は広く知られているところですが、折しも各地で熊の出没が相次いだ時期と重なり、近年直面している温暖化や野生生物との共存の課題等に関して、アイヌの方々の生き方から学ぶことがあるのではないかと考えました。

前半、版画家である結城氏ご自身が手掛けたアニメーション映画「七五郎沢の狐」を上映、函館市七五郎沢に作られた廃棄物最終処分場の問題を、野性の狐の目線で描いた作品です。全編アイヌ語で語られ、環境汚染により住処を失う野生動物に、アイヌ民族の歩んできた歴史的背景を重ね合わせた構成で、テーマの深淵さに加え、芸術性の高い美しい映画でした。環境や先住民をテーマとする30以上の映画祭で上映され、高く評価されたそうです。上映後、結城氏によるアイヌ民族の歴史や心を伝える口承パフォーマンスを聴かせていただきました。

北海道出身の参加者の中には、地名を知っている方、アイヌの方々との交流の思い出をもつ方もいて、講座後の交流会も、大いに盛り上がりました。

(ESD/SDGs委員会委員長/副会長 内藤恵子 記)



結城氏を囲んで



口承パフォーマンスをする結城氏

ユネスコ会員企業紹介

～SDGsの取り組みについて～

(株)クリエイトワン

株式会社クリエイトワンは、インターネット広告、WEB制作、デジタルマーケティング事業を通じて、地域社会とともに持続可能な未来づくりに取り組んでいます。「情報発信の力で地域を元気にする」を使命に、地元企業や医療機関、教育機関の広報活動を支援し、地域経済の活性化に貢献しています。

SDGsの観点では、特に「働きがいも経済成長も」「質の高い教育をみんなに」「住み続けられるまちづくりを」を重視しています。社内では柔軟な働き方やデジタルツールの積極活用により、生産性向上と働きやすい環境づくりを推進しています。また、AIやマーケティングツールの活用に関する研修や勉強会を開催し、地域企業のデジタルリテラシー向上にも取り組んでいます。

近年はAIとDXの導入支援にも力を入れています。業務自動化やデータ活用の仕組みづくりを支援し、属人化していた業務の見える化と効率化を実現。



DESIGNING THE
FUTURE
WITH THE WEB

Webで未来をデザインする

We help our customers solve their problems through website development and online advertising.



CREATEONE Inc.

Webで未来をデザインする

DESIGNING THE FUTURE WITH THE WEB

チャットボット導入やデータ分析基盤の整備などを通じて、中小企業でも無理なくデジタル変革を進められる体制づくりをサポートしています。現場に寄り添い、小さな改善を積み重ねる伴走型支援を大切にしています。

さらに、オンライン会議の活用やペーパーレス化を推進し、環境負荷の軽減にも取り組んでいます。サーバー運用やサイト設計においても効率性を意識し、無駄な資源消費の抑制を図っています。地域団体や非営利組織の広報支援も積極的に行い、情報発信の格差是正にも貢献しています。

これからも仙台・宮城を拠点に、デジタルとAIの力で人と地域をつなぎ、次世代へ誇れる持続可能な社会づくりを目指してまいります。

〒984-0042 仙台市若林区大和町5-18-7
大和町中北ビル2F
TEL 022-782-8657 <https://createone.jp/>

(有)伊藤測量設計

弊社は平成5年より測量業を中心に土木工事の設計や宅地造成の設計を行っており、住みよい街づくりに貢献できるよう業務に取り組んでいるところです。また、弊社ではペーパーレスに取り組みコピー用紙の削減を図ったり、スケジュール管理やカレンダー等もアプリを活用しデジタル化に対応する取り組みをしています。

さらに業務以外では、地域の関りを大切にしており、数年前より消防団協力事業所として仙台市長より認定を受け地域の活動にも貢献しております。災



害が起きた際には、昼夜を問わず災害現場に駆け付け、火災時には消火活動行ったり、救助活動などを行いながら、地域の防災に貢献しています。

今後の展望としては、弊社がある当地区は旧市街地であり、数十軒あった店も年々減少しており高齢化が進むこの街を

再開発して、高齢者と若者が一緒に暮らせる街づくりに貢献したいと考えております。そのためには、行政機関との連携をはじめ、地域住民や企業、団体との活発な語らいを進めてまいります。

今まで培った技術と人脈を生かして、今後も地域発展のために少しでも多く、お役に立ていければと考えております。



〒981-1104 仙台市太白区中田2丁目6-62
TEL 022-241-1526

東北大学「大学の国際化によるソーシャルインパクト創出支援事業」シンポジウム 参加報告

12月6日東北大学川内南キャンパスに於いて、東北大学グローバルラーニングセンターとシドニー大学が主催し、豪日交流基金の支援を受け開催したシンポジウムに青年部が参加、「平和祈念七タプロジェクト」の活動を話題提供しました。シンポジウムのテーマは「多文化共生社会を共に築く～若者がひろく教育外交の可能性」、話題提供した青年部の大学院生、佐藤さんと鶴岡さんは、パネルディスカッションにも登壇、若者の視点で意見を述べました。

シンポジウムには、東北大生に加え、シドニー大学から来訪している学生が参加、また関係団体として、宮城県経済商工観光部国際政策課、経済平和研究所(シドニーに本社があるグローバルシンクタンク)も話題提供し、多様な立場から意見が交わされました。

発表した2人の他に、シンポジウムに合わせて開設

されたWeb投稿サイト「多文化共生社会をつくるためにわたしたちがしていること・できること」に青年部数名が投稿、七タプロジェクトやこどもキャンプ、ボランティアなどの活動を通じた多文化共生社会への思いや考えを述べています。青年部の主体的な活動をグローバルに発信できた、素晴らしい機会となりました。

(青年部担当/副会長 内藤恵子 記)



東北ブロックユネスコ活動研究会in白河

11月8日(土)東京第一ホテル白河にて、「地域からユネスコの心を育む人づくり」をテーマに、基調講演並びに研究協議が行われました。基調講演では、「『世界の国旗と国歌』学ぼう!聴こう!歌おう!」の演題で、各国の特徴ある国歌を聴きながら、学びを深めることが出来ました。続いて3つの分科会に分かれての研究協議では、次世代ユネスコの目指す活動をテーマに実践で活動している郡山次世代ユネスコ協会の実例発表とグループでの討議となりました。冒頭では、当協会青年部であり日本ユネスコ協会東北ブロック青年評議員である井上海氏の発表もあり、当協会からは、青年部も含む9名が参加し、今後の活動や学びを深める研修となりました。

(事務局長 針生真由美 記)



仙台ワールドフェスタに参加しました

宮城県海外協力隊を支援する会と宮城青年海外協力協会が主催し、2月22日に行われた、「せんだいワールドフェスタ」に参加しました!会場は仙台メディアテーク1Fオープンスクエア、会場を訪れたたくさんの方々とは交流しました。



ステージ発表では、7月~8月に東北大学のサマープログラム参加の留学生と一緒に活動した、平和祈念七タプロジェクトの報告を行いました。ユネスコの紹介と、七夕飾り制作を通して感じた「多文化共生」への思いを、クイズも交えて発表しました。

ワークショップではジオゲッサー(Googleマップの映像を見ながら地名を当てるゲーム)を行いました。これがなかなか難しい...ですが、遊びながら地理を学べて、参加した皆さんはとても楽しそうでした!

その他にも各国国旗モチーフの缶バッジ作りやポッチャ×オセロゲームなど様々なブースがあり、会場は大盛り上がり。いただいたお弁当はインドネシア料理のミーゴレン、海外の文化を身近に感じられる、とても素敵なイベントになりました!

(青年部 鶴岡美彩樹 記)

これからの行事予定

- 5月28日(木) 第83回定期総会
- 7月 4日(土)「民間ユネスコ運動の日」記念講演会

会員募集 あなたも参加しませんか!

公益社団法人仙台ユネスコ協会は、世界で初めての民間ユネスコ運動の団体として、1947年7月19日に誕生しました。あなたのご参加をお待ちしています!

団体会員(一口)年会費	20,000円
個人会員(一口)年会費	5,000円
青年部会員(一口)年会費	2,000円

※青年部:学生は無料

仙台ユネスコ協会 会員数

団体会員	71
個人会員	124
青年部会員	28
合計	223

(1月末現在)

【編集委員】

松坂 宏造 小泉知加子
 畠山 明 岩山 浩一
 佐藤 光記 千葉 雅保

【編集後記】

ユネスコ会報480号をお届けします。11月から2月までの活動報告をまとめました。仙台ユネスコ協会ならではの会員の「SDGs取り組み」や青年部活動、世界平和に関するシンポジウムなど掲載いたしました。当会は一人ひとりが思いやりの活動をしています。皆様もお仲間に加わって、いっしょに活動しませんか。

仙台ユネスコ会報編集長 小泉知加子